滋賀版水素社会づくり推進事業

背景

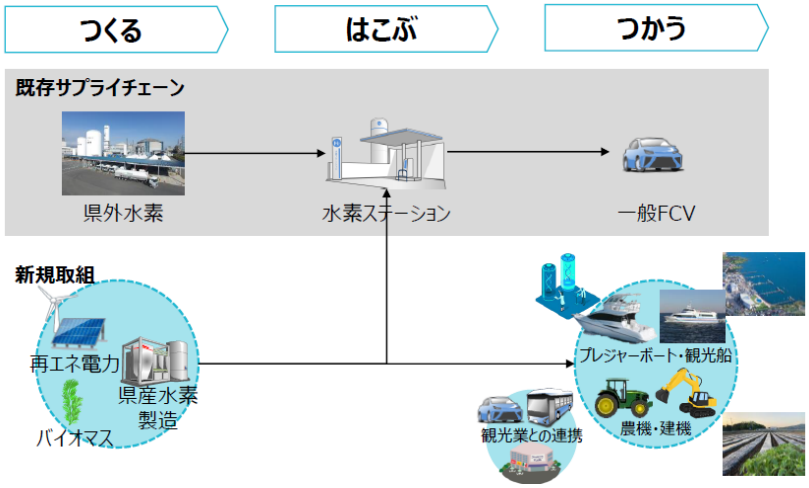
予算額　5,437千円

○　滋賀県では、「しがエネルギービジョン」に基づき、平成29年1月に「しが水素エネルギー研究会」を設置し、国内外の水素関連の動向や先進事例に関する情報共有や、水素エネルギー社会の形成に向けた機運の醸成等を図ってきた。

○　さらに、令和3年度から研究会を再編し、2050年CO2ネットゼロの実現に向けて、次世代エネルギーとして期待が高まる水素エネルギーを活用した滋賀発の革新的イノベーションの創出を図るため、具体的なプロジェクトの組成等に向けた検討を進めてきた。

概要

2050年のCO2ネットゼロ社会の実現にキーテクノロジーとして期待される水素エネルギーに関する施策を総合的に推進するため、めざすべき滋賀の水素社会の姿や重点プロジェクトの方向性などを示すことにより、事業者の積極的な事業展開や県民の理解、多様な主体との協働による取組の促進に資する「（仮称）滋賀県水素戦略」を策定する。



事業内容

（1）「しが水素エネルギー研究会」の開催

「（仮称）滋賀県水素戦略」の策定や重点プロジェクト等の検討を進めるため、水素関連事業者や学識経験者等による研究会を開催する。

（2）「（仮称）滋賀県水素戦略」の策定

水素戦略の策定に向けた調査、検討を行う。

今後のスケジュール（想定）

R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8～ 2026～
研究会による検討	（仮称）滋賀県水素戦略策定	FS調査／実証事業（NEDO／環境省）			スケールアップ
		しが水素エネルギー研究会			